

令和元年度 第1回 行財政改革推進会議

議 事 要 旨

〔日 時〕 令和元年5月16日（木） 午後6時30分

〔場 所〕 昭島市役所 3階 庁議室

〔出席者〕

1 委員

小池満也委員長、田中啓之副委員長、坂村一登委員、山下俊之委員、和田篤彦委員

2 事務局

臼井市長、永澤企画部長、横山行政経営担当課長、関谷企画調整担当係長

3 傍聴者

なし

〔配付資料〕

- ・第1回行財政改革推進会議 日程
- ・昭島市行財政改革推進会議の進め方について
- ・昭島市行財政改革推進プラン（概要版）

〔議事要旨〕

1 委嘱状交付

交付に先立ち、市長より挨拶があり、昭島市行財政改革推進プランの評価・検証を行っていくにあたり、推進会議委員への期待が述べられた。

続いて、市長より各委員に委嘱状が交付された。

委嘱状交付後、各委員及び事務局職員の紹介が行われた。

2 委員長、副委員長の選任

委員の互選により、委員長に小池委員、副委員長に田中委員が選出された。

3 会議の進め方について

事務局より、会議の公開、会議録（議事要旨）の作成及び公表、報告書の作成、今後のスケジュールについて説明。

今後のスケジュールを説明する中で、第2回会議を7月18日（木）、第3回会議以降については進捗状況に合わせて決定していくことを確認。

4 昭島市行財政改革推進プランについて

事務局より、今後プランの評価・検証を進めていくことに先立ち、プランの概要について説明。

その後、各委員より質疑。

<質疑応答>

- ◆ 平成 29・30 年度の 2 か年にわたるプランの評価・検証を行っていくにあたり、どの程度の資料を出していくイメージか。【山下委員】
- 前回の行財政改革推進会議を参考に、現時点の案として、プランの項目ごとに A 4 サイズ 1 枚、1 シートという形で、各年度の具体的な取り組み内容等をお示しし、それに対して評価・検証いただくという流れで考えている。詳細については更に検討の上、委員の皆様に変更を説明させていただく。【事務局】
- ◆ プランにおける具体的な施策の評価を事業担当課で一旦行い、それを会議に提示していくということか。【山下委員】
- 今後改めて、行政経営担当から各事業担当課に 29・30 年度の進捗状況について照会をし、それを集約したものを会議で示していきたい。【事務局】
- ◆ 評価・検証にあたっては、事業担当の部課長職なども同席して直接意見を聞きたい場合もあると思うが、いかがか。【和田委員】
- 会議を進めて行く中で、必要であれば管理職の出席について調整していきたい。【事務局】
- ◆ 補足であるが、小平市では A B C D の評価を行い、D などがあれば、事業の責任者が直接説明をするということがあった。場合ごとの判断によるが、評価が低いものについては、どうして達成できなかったかというところを委員としては聞いてみたい。【山下委員】
- ◆ 以前の行財政改革推進会議でも、必要に応じて部課長職より説明をいただいていたので、今回も同様にご対応いただきたい。【小池委員長】
- ◆ 平成 30 年度が終わったところであるが、これについて内部総括はすでに終了しているという認識でよろしいか。【和田委員】
- 会計年度で言えば、平成 30 年度は出納整理期間が 5 月まであり、決算は 9 月議会での報告となるので、詳細が出てくるのは 9 月ぐらいと考えている。【事務局】
- ◆ そうすると、配付されたスケジュールに照らすと、平成 30 年度の評価・検証については夏頃に議論をしていくという認識で良いか。【和田委員】
- その時期には、確定ではないがある程度数値が固まってきているので、早い時期にお示しして評価・検証いただければと考えている。また、早い時期に決算値が固まるものもあり、都度お示しすることは可能と考えている。【事務局】
- ◆ 資料については事前に送ってもらえるのか。【田中副委員長】
- メールや郵送等により、各委員にお送りする。【事務局】

5 その他
特になし。

次回の審議会は、7 月 18 日（木）の午後 6 時 30 分から開催することを確認し、閉会した。